

目指す姿 女性特有の健康課題に対応する環境が整備され、生き生きと仕事や生活ができる



KPI	基準値	現状値	目標値(R9)
【第1階層】 県労働環境等実態調査において、女性特有の健康課題への配慮を、1つでも「実施している」と答えた企業の割合 ※R8年度の暫定KPIとし、実態調査をもとにR9に再設定	28% (R7調査結果)	28% (R7調査結果)	38% (10ポイント増)

現状と課題

現状

- ・月経随伴症状や更年期症状では、パフォーマンスが日頃比に比べ3～4割減少するという方が多い。有症状の方のうち、月経随伴症状は3割、更年期症状は5割が、通院などの行動を起こしていない。→体調不良、離職等による経済損失は、社会全体で約3.4兆円と推計（県では157億円と推計）
- ・本県は、生産年齢人口（15～64歳）の女性の有業率73.6%（全国7位）（県女性活躍推進計画）
- ・女性特有の健康課題に配慮した取組を実施している県内企業は少数（28%）

課題

- ・個人、企業等の取組促進のため、女性特有の健康課題と対処方法についての意識啓発が必要
- ・臨床現場への治療方法等の周知など、医療体制の充実が必要（特に、働く女性への支援。骨粗鬆症予防など健康寿命の延伸に繋がる支援）

R7年度 高知県労働環境等実態調査報告書

取組内容	実施している	実施を検討中	実施していない
1 生理休暇を取りやすくする措置	20.2%	12.3%	67.5%
2 更年期症状で休める特別休暇の設置	5.3%	12.3%	82.5%
3 相談窓口の設置	18.6%	10.9%	70.5%
4 女性の健康を学ぶ社内研修の実施	2.4%	10.3%	87.3%

◆1～4の1つでも「実施している」と回答した企業は28%（354/1,253団体）

第5期構想（R6～R9）で目指す姿（イメージ）

目指す姿① 生涯を通じたQOLの向上・健康寿命の延伸

- 月経随伴症状 →パフォーマンスの低下軽減、子宮内膜症などの早期発見・治療
- 更年期症状 →パフォーマンスの低下軽減、うつ症状による離職などの防止
- 骨粗鬆症 →骨折による要医療・要介護状態への移行の抑制

目指す姿② 目下の経済損失の改善

- パフォーマンス低下、欠勤、離職等の抑制（女性の活躍促進）
- 女性が働きやすい環境の整備（女性に選ばれる企業の増加）
- 長期にわたり勤務ができる人材の確保（生産性向上）

保健医療面から女性が生き生きと仕事や生活ができる環境を整備し、「女性に選ばれる高知」に！

新 令和8年度の取り組み

(1) 女性の健康づくりについての理解の促進

- ・県民への広報（全世代向け広報、特設サイト開設）
- ・医療従事者向け研修会、相談対応人材の養成
- ・企業や保険者向け講演会等の開催

(2) 有症状者を適切に医療へつなぐ方策の検討

- ・産婦人科医療機関への調査による疾病の状況等の実態把握
- ・医療機関受診者へのアンケートによる受診のきっかけや労働環境等の把握